

令和5年度

決算報告

令和5年度決算が9月議会定例会で承認されました。決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。
令和5年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。
問合せ▶企画財政課財政係 ☎295-2112 ㊟324

一般会計

一般会計 歳入 (入ったお金)

122億271万9千円

(単位/千円)

項目	5年度決算	前年度増減額
自主財源		
町税	36億1,538万8	8,611万8
繰越金	4億8,080万9	3,693万9
繰入金	9億4,273万2	5億1,811万7
分担金及び負担金	5,254万1	221万5
使用料及び手数料	7,711万5	△462万4
財産収入	2,327万4	△244万9
寄附金	3,799万3	△765万5
諸収入	1億2,684万8	3,894万5
依存財源		
地方交付税	27億7,971万1	3,536万8
国庫支出金	18億 233万4	△2億 821万7
町債	3億3,604万6	1億8,220万2
県支出金	7億8,441万6	4,428万8
地方消費税交付金	8億 815万2	△439万1
地方譲与税	1億 319万1	102万8
地方特例交付金	2,154万0	△7万5
自動車取得税交付金	102万8	77万4
環境性能割交付金	1,816万9	137万2
ゴルフ場利用税交付金	7,313万3	△171万8
利子割交付金	137万0	△16万7
株式等譲渡所得割交付金	2,888万8	1,167万3
配当割交付金	2,490万2	277万4
法人事業税交付金	5,970万2	1,382万4
交通安全対策特別交付金	343万7	△27万5
合計	122億271万9	7億4,606万6

一般会計 歳出 (使ったお金)

118億470万2千円

(単位/千円)

項目	5年度決算	前年度増減額
総務費	17億6,705万2	9,662万8
民生費	40億7,970万7	8,543万3
教育費	12億 293万5	1億2,575万5
公債費	10億3,616万9	△1,885万7
衛生費	8億9,067万4	△7,347万0
土木費	10億9,969万1	4億2,683万9
消防費	6億 355万1	△761万3
農林水産業費	1億3,393万3	1,670万8
議会費	1億 416万9	9万9
商工費	1億4,133万2	9,853万8
労働費	102万0	△1万2
災害復旧費	431万1	32万1
諸支出金	7億4,015万8	7,848万9
合計	118億470万2	8億2,885万8

町民1人あたりに使われたお金は、

36万6,537円でした

※一般会計歳出を令和6年3月31日現在の人口32,206人で割った金額。

特別会計

特別会計歳入出・企業会計収支

(単位/千円)

区分	歳入(収入)	歳出(支出)	差引額	
国民健康保険	39億8,524万1	38億9,701万1	8823万0	
農業集落排水事業	4,100万8	3,673万0	427万8	
介護保険	30億9,711万6	29億7,288万9	1億2,422万7	
後期高齢者医療	5億4,613万2	5億4,136万8	476万4	
水道事業	収益的収支	8億7,513万8	7億2,983万8	1億4,530万0
	資本的収支	1億3,119万1	4億4,042万7	△3億 923万6

町の会計は、「一般会計」と「特別会計」に分けられています。一般会計は、特別会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計で、特別会計は、特別な財源を特定の支出に充てて経理を行うものです。毛呂山町の特別会計には国民健康保険・農業集落排水事業*・介護保険・後期高齢者医療と、企業会計である水道事業会計があります。
※農業集落排水事業は、令和6年度から企業会計になります。





令和5年度 主な事業

里山の環境を活かした都市基盤を創る

町道整備事業	1億3,332万8千円
橋梁点検業務委託料	2,178万円

安全で快適なまちを創る

防犯灯整備事業	2,072万5千円
通学路安全対策費用	222万7千円

健やかで安心に暮らせるまちを創る

小中学校給食費負担軽減事業	3,901万4千円
保育所等給食副食費補助事業	548万2千円
こども医療費	7,809万円
健幸づくりのまち関連事業	982万4千円

活力と夢のある産業のまちを創る

森林所有者意向調査業務委託料	253万円
企業誘致促進条例奨励金	781万円

豊かな心と学びのあるまちを創る

支援員等配置事業	1,794万2千円
小中学校特別教室空調設備整備事業	9,093万4千円

みんなで築くまちを創る

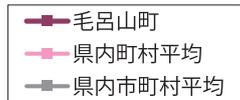
広報もろやま印刷事業	651万7千円
総合公園体育館屋根及び外壁改修工事	2億41万9千円

定住促進事業

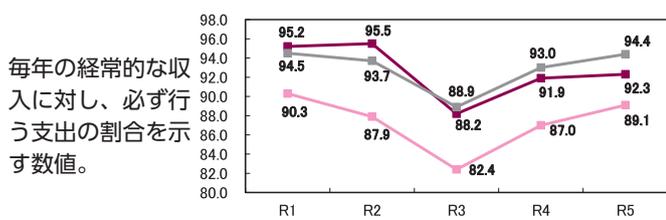
毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金	501万2千円
毛呂山町定住促進補助金	1,629万円

健全化判断比率

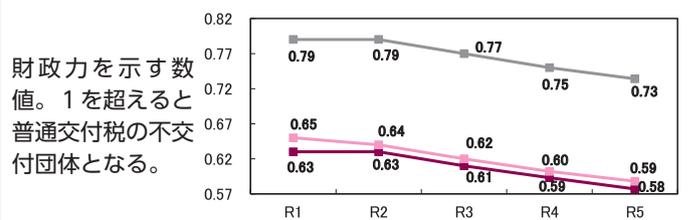
平成19年度決算から財政健全化法に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標の公表が義務づけられました。毛呂山町の健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、数値的にも健全性を示しています。



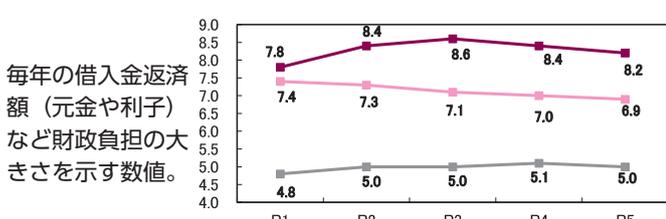
経常収支比率の推移



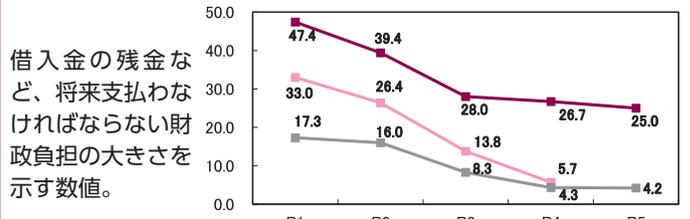
財政力指数の推移



実質公債費比率の推移



将来負担比率の推移



※令和5年度の町村平均は将来負担がないため、「なし」となっています。

令和5年度健全化判断比率

(単位: %)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
毛呂山町	-	-	8.2	25.0
早期健全化基準	13.94	18.94	25.0	350.0

※実質赤字比率と連結実質赤字比率については、黒字の場合は算定しません。

用語説明

実質赤字比率 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

実質公債費比率 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率。

将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。

もろ丸家の家計簿



令和5年度の一般会計決算を、家庭の1か月分の家計簿に例えてみました。収入・支出ともに町の令和5年度決算額を3,000分の1の額にして、12月で割った金額です。令和5年度は、役場庁舎や総合公園体育館の改修に伴う基金の取崩しや町債の借入等による収支の増減が見られます。

収入 (令和4年度からの増減)			支出 (令和4年度からの増減)		
現金収入合計	30万3千円	(+1千円)	生活費用合計	22万3千円	(+1万1千円)
給料	10万円	(+2千円)	食費	5万5千円	(+1千円)
▶町税			▶人件費		
親からの仕送り	15万2千円	(△3千円)	医療費、学費	7万1千円	(+5千円)
▶地方譲与税、地方交付税、国・県支出金など			▶扶助費		
パート収入	9千円	(+1千円)	光熱水費・日用品の購入	3万8千円	(△3千円)
▶使用料および負担金、財産収入など			▶物件費		
その他収入	4万2千円	(+1千円)	自治会費、友人への支援	5万9千円	(+8千円)
▶地方消費税交付金、地方特例交付金など			▶補助費など		
貯金の取り崩し	2万6千円	(+1万4千円)	子どもへの仕送り	3万6千円	(+1千円)
▶繰入金			▶繰出金		
ローン借入れ	9千円	(+5千円)	ローン返済	2万9千円	(0円)
▶町債			▶公債費		
収入合計	33万8千円	(+2万円)	自宅の増改築・修繕	1万9千円	(+1万円)
貯金残高	74万4千円	(△2万6千円)	▶維持補修費、普通建設事業費、災害復旧費		
			貯金など	2万1千円	(+3千円)
			▶積立金、投資および出資金・貸付金		
			支出合計	32万8千円	(+2万5千円)
			ローン残高	247万7千円	(△22万7千円)

※貯金残高およびローン残高は、町の令和5年度末現在の基金（財政調整基金とその他特定目的基金）および町債残高の3,000分の1の額です。

歳入の用語説明

地方譲与税・地方交付税	町の財政規模などに応じて譲与、交付されるお金
国・県支出金	特定の目的のために国や県から支出されるお金
町債	町が銀行などから借り入れるお金

歳出の用語説明

扶助費	子どもや高齢者、障害者などに対して行っている扶助（援助）にかかるお金
物件費	消耗品や印刷代、光熱水費などにかかるお金
補助費など	団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など
公債費	町が借り入れたお金の返済金

令和5年度は古くなった自宅の改修などのために支出が増えましたが、これまでの預金を取崩すなどして収入を確保し、家計をやりくりできました。今後も厳しい状況が続くなか、引き続き節電や節水に努めるほか、その他の出費についても無駄がないか見直したり、改修時期や規模を見直したりして家計のやりくりにも努めます。

